



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 進学会

コード番号 9760 URL <http://www.shingakukai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平井 崇浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員管理本部長 (氏名) 松田 啓

TEL 011-863-5557

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,321	△7.0	27	△91.0	667	△19.6	528	△21.0
25年3月期第3四半期	4,648	△3.7	307	0.2	830	69.4	669	105.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 691百万円 (△0.1%) 25年3月期第3四半期 692百万円 (149.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	26.46	—
25年3月期第3四半期	33.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	25,320	23,293	92.0	1,165.85
25年3月期	24,444	22,817	93.3	1,141.99

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 23,293百万円 25年3月期 22,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	0.8	600	2.9	1,390	6.5	1,015	6.6	50.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	20,031,000 株	25年3月期	20,031,000 株
26年3月期3Q	50,757 株	25年3月期	50,757 株
26年3月期3Q	19,980,243 株	25年3月期3Q	19,980,259 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善を背景に設備投資も増加に転じ、景気は全体として回復の兆しが見え始めており、また個人消費も緩やかに持ち直してきております。

当学習塾業界におきましては、少子化傾向に対応するため各社ともエリア拡大や集客力のあるメニュー開発を行い、経営体質の強化や業容拡大、シナジー効果を期待した業務提携や資本提携の動きが見られ、業界再編が徐々に進行しております。

このような状況のもと、当社グループは引き続き会場のスクラップ&ビルドを積極的に推進し、地域ナンバーワン校への合格実績を高めるためにコース・メニューの拡充と指導力の更なる強化を実施してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、夏・冬の講習会受講料の割引による減収が影響し4,321百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。利益面では新社屋増設に伴う諸経費の支出もあり、営業利益は27百万円（前年同四半期比91.0%減）、経常利益は前述の理由によるほか、持分法投資利益が昨年を下回ったため667百万円（前年同四半期比19.6%減）、四半期純利益は528百万円（前年同四半期比21.0%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況

①塾関連事業

当第3四半期連結累計期間においては、この春から千葉県流山市に本部を開設、また夏期講習会では、千葉県野田市を始め全国3都市で新たに授業をスタートさせ、また9都市で新設会場を展開しました。なお、野田市と松戸市は9月より本部を新設しております。この結果、12月末時点では本部数は72本部、会場数は403会場となりました。

個別指導部門の(株)プロGRESSは、一人あたりの週間受講回数が減少したことなどにより、売上高は142百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。

コンピュータを利用した学校向け教育ソフトの売上高は14百万円（前年同期比59.9%減）となり、同ソフトの導入実績校は発売開始以来累計で3,869校となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,560百万円（前年同四半期比8.8%減）となりました。またセグメント利益は、エリア拡大による広告宣伝費の増加などにより経費削減が売上減をカバーするまでには至らず212百万円（前年同四半期比57.9%減）となりました。

なお、3学期からの継続入会生は前年を上回っており、中でも関東エリアの募集状況は前年の約1.5倍となっております。

②スポーツ事業

札幌市内3ヶ所に施設を構えるスポーツクラブZipは、健康志向の高まりによって高年齢者層の利用者が増加したことや、幼児・児童の会員数が増加したことなどにより、売上高は443百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。なお、セグメント利益は水道光熱費の増加により31百万円（前年同四半期比19.1%減）となりました。

③その他

本セグメントは、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業として教材の印刷や備品・消耗品の販売、及び賃貸不動産や学習塾部門の教室の管理・清掃を行っております。当第3四半期においては、外販が伸びた結果、売上高は528百万円（前年同四半期比10.0%増）、セグメント利益は58百万円（前年同四半期比22.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は9,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,221百万円増加しました。これは主に現金及び預金が1,313百万円増加したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ投資有価証券が327百万円減少したことなどにより345百万円減少し16,297百万円となりました。

この結果、総資産は25,320百万円となり、前連結会計年度末に比べて876百万円増加しました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,446百万円となり、前連結会計年度末に比べ383百万円増加しました。これは主に未払金が121百万円減少しましたが、前受金が500百万円増加したことなどによるものです。固定負債は579百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加しました。これは主に繰延税金負債が53百万円増加したものであるものです。

この結果、負債合計は2,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ399百万円増加しました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は23,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ476百万円増加しました。これは主に有価証券評価差額金が174百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は92.0%（前連結会計年度末は93.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想の修正につきましては、平成25年5月14日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,209,363	8,522,738
受取手形及び営業未収入金	75,359	54,940
有価証券	71,438	55,120
商品及び製品	12,365	12,127
仕掛品	3,683	481
原材料及び貯蔵品	21,148	8,190
繰延税金資産	203,608	179,041
未収還付法人税等	53,455	—
その他	152,099	190,856
貸倒引当金	△1,109	△741
流動資産合計	7,801,413	9,022,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,760,410	9,980,102
減価償却累計額	△5,715,704	△5,874,637
建物及び構築物（純額）	4,044,706	4,105,464
機械装置及び運搬具	541,116	547,176
減価償却累計額	△504,621	△506,656
機械装置及び運搬具（純額）	36,494	40,519
土地	2,836,739	2,836,739
建設仮勘定	3,978	—
その他	996,782	986,098
減価償却累計額	△920,141	△902,009
その他（純額）	76,641	84,089
有形固定資産合計	6,998,559	7,066,813
無形固定資産		
ソフトウェア	9,114	7,270
電話加入権	1,259	1,259
施設利用権	7,975	7,975
無形固定資産合計	18,348	16,504
投資その他の資産		
投資有価証券	9,022,933	8,695,502
繰延税金資産	57,921	2,831
敷金及び保証金	344,199	339,382
その他	200,728	176,530
投資その他の資産合計	9,625,782	9,214,247
固定資産合計	16,642,691	16,297,565
資産合計	24,444,105	25,320,320

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,157	98,384
未払金	303,526	182,397
未払法人税等	37,905	58,047
未払費用	250,626	202,137
前受金	369,017	869,843
その他	24,204	36,015
流動負債合計	1,063,437	1,446,826
固定負債		
繰延税金負債	414	54,169
退職給付引当金	45,520	38,743
役員退職慰労引当金	275,080	246,300
資産除去債務	217,093	215,183
長期預り敷金保証金	25,385	25,145
固定負債合計	563,494	579,543
負債合計	1,626,931	2,026,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,984,100	3,984,100
資本剰余金	3,344,000	3,344,000
利益剰余金	15,168,431	15,470,715
自己株式	△45,490	△45,490
株主資本合計	22,451,040	22,753,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366,132	540,626
その他の包括利益累計額合計	366,132	540,626
純資産合計	22,817,173	23,293,951
負債純資産合計	24,444,105	25,320,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,648,577	4,321,312
売上原価	3,509,022	3,463,414
売上総利益	1,139,555	857,898
販売費及び一般管理費	831,788	830,124
営業利益	307,766	27,773
営業外収益		
受取利息	39,346	60,381
受取配当金	24,188	36,051
持分法による投資利益	424,785	395,040
有価証券償還益	—	4,694
有価証券評価益	34,811	48,536
為替差益	1,932	5,766
受取保険金	—	63,056
その他	17,064	26,897
営業外収益合計	542,128	640,424
営業外費用		
支払利息	4,118	—
有価証券償還損	14,355	—
有価証券売却損	522	—
その他	744	847
営業外費用合計	19,741	847
経常利益	830,153	667,349
特別利益		
移転補償金	—	10,000
特別利益合計	—	10,000
特別損失		
固定資産除却損	22,437	18,799
特別損失合計	22,437	18,799
税金等調整前四半期純利益	807,716	658,550
法人税等	138,258	129,791
少数株主損益調整前四半期純利益	669,457	528,759
四半期純利益	669,457	528,759

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	669,457	528,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,023	184,445
持分法適用会社に対する持分相当額	19,949	△9,951
持分法適用会社に関する持分変動差額	△35,387	△11,752
その他の包括利益合計	22,585	162,742
四半期包括利益	692,043	691,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	692,043	691,501
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。